

mix tex

小林麻弥 展 kobayashi maya exhibition

2013年07月23日[火] — 08月04日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像01】DM使用画像
作品テクスチャ

ご案内

ギャラリー・パルクでは、2013年7月23日[火]から8月04日[日]まで、小林麻弥による個展「mix tex」を開催いたします。

京都の文化・創造活動の更なる活性化への支援のひとつとして、芸術系大学への会場提供により展覧会やイベントを開催する「PARC_美術・芸術系大学サポートプログラム」の一環として実施される本展は、京都造形芸術大学のコーディネーションによるもので、本展に先立ち、大学内でおこなわれた公募・審査により選ばれた作家・プランをもとに開催されます。

小林麻弥(こばやし・まや/兵庫・1987~)は、現在、京都造形芸術大学大学院においておもに染織テキスタイルを中心に学んでいます。これまで小林は、軽く・透過性の高いオーガンジーに熱を加える(焼く)事で、縮みによりその表面に有機的な凹凸を与え、それらを色とりどりに染め上げたオリジナル・テキスタイルをひとつの作品としてきました。

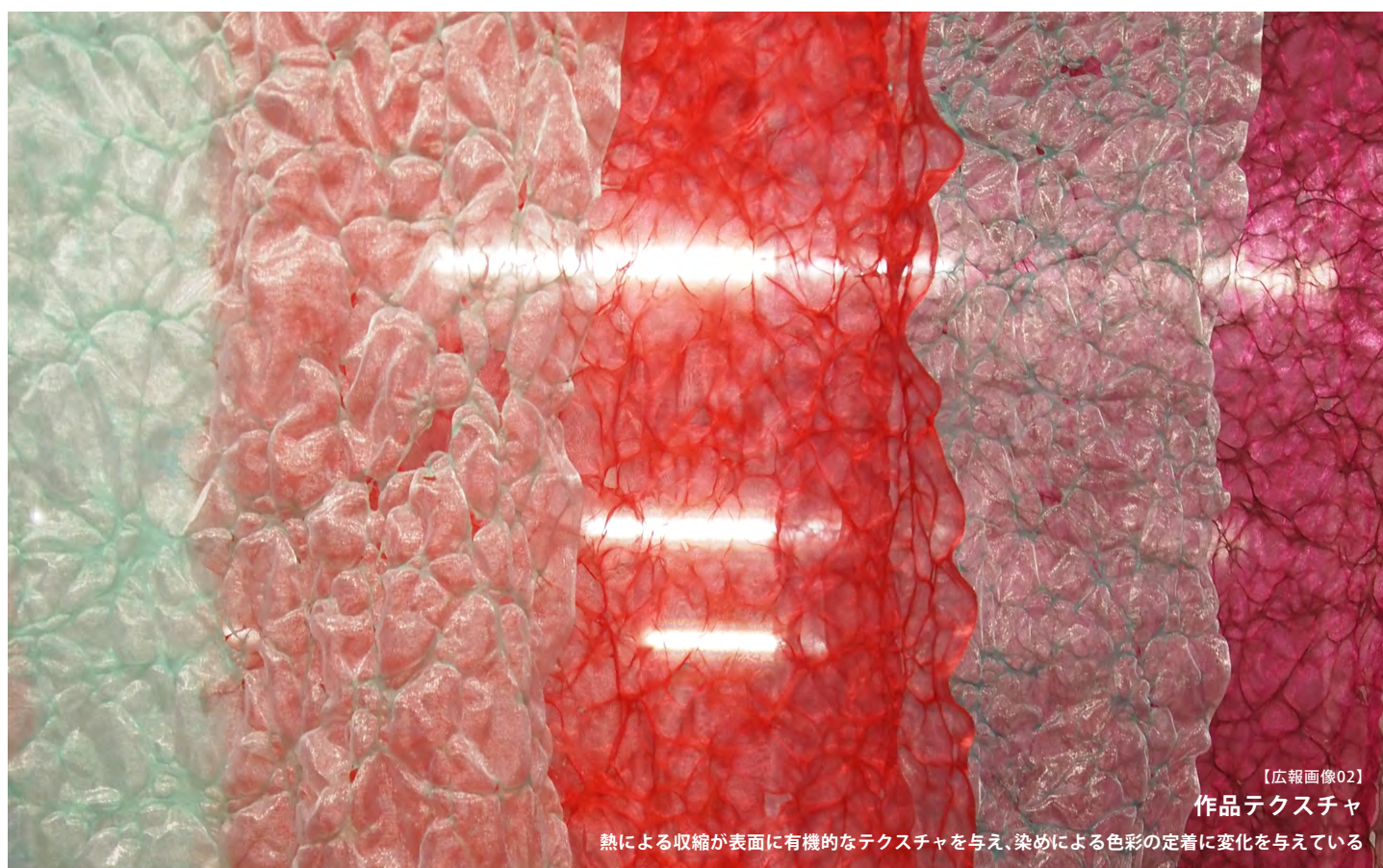
本展は「布に触れ、布から触られることによって生の感覚を感じて欲しい」とする小林の目論見から、その独特の手ざわりを持つテキスタイルを用いて、透過によるレイヤーとしての効果を最大限に活かし、ギャラリー空間そのものを変容させる大規模なプランを基に展開されます。

自然光を採り入れた会場には、鮮やかな発色によるテキスタイルが織りなす色彩の豊かさ、有機的に歪んだ表面と透過光による視覚効果などが混合(ミクスチャー)されたひとつの空間が創出されます。鑑賞者はその空間の内部を、時に布の手ざわりを確かめながら彷徨い、「見ること・触れること」を等しく体験できる機会になるのではないのでしょうか。

mix tex

小林麻弥 展 kobayashi maya exhibition

2013年07月23日[火] — 08月04日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[info@galleryparc.com]迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 mix tex:小林麻弥展

出品作家 小林麻弥(こばやし・まや)

会期 2013年07月23日[火] — 08月04日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊・最終日18:00まで

主催 京都造形芸術大学

協力 Gallery PARC (PARC_美術・芸術系大学サポートプログラム)

料金 無料

展示内容 【染織・テキスタイル】

京都造形芸術大学大学院で染織・テキスタイルを専攻する小林麻弥による個展。

オーガンジーに熱を加えて伸縮をつくり、染め上げた独自のテキスタイルを用いて会場内に大型のインスタレーションを展開する。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 http://www.galleryparc.com

アクセス

阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ

Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com

mix tex

小林麻弥 展 kobayashi maya exhibition

2013年07月23日[火] — 08月04日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで

小林麻弥 KOBAYASHI Maya

1987 兵庫県生まれ
2005 甲南女子大学 入学
2008 パンタンデザイン研究所 雑貨デザインコース 入学
2010 京都造形芸術大学染織テキスタイルコース 入学
2013 京都造形芸術大学大学院 入学

展覧会

2011 四角衣展 @COAST裏寺
2011 肩衣展 @ittenmon

【ステートメント】

「目で触る、手で見る」 ちょっと変な日本語です。

見えるものと見えないもの。
触れられるものと触れられないもの。
見ることによって感じること。
触れることによって感じること。

その2つが重なった時に生まれる感覚。
言葉にできない感覚と、感覚を伝えるための言葉。

氷を触ったときに熱かったら
火を触って冷たかったら
マシュマロが硬かったら
ダイヤモンドが柔らかかったら

「見る」を「触れる」と信じない。
「見る」と「触れる」のそれぞれの行為につながるこ
と。

布に触れること。
それは生まれてから死ぬまで私たちのそばにある、
とても人に近いもの。
気づいたらそこにあって、特別ではないけれど大切
なもの。

私は言葉にできない感覚を、見て・触れて確かめてい
きたい。
それはとてもリアルで、それでいて触れた瞬間に私
の想像を遥かに超えるものかもしれないから。

mix tex

小林麻弥 展 kobayashi maya exhibition

2013年07月23日[火] — 08月04日[日] 11:00~19:00 *月曜休廊・最終日18:00まで



【展覧会について】

人と布が空間の中で溶け合ったら何が起るのか。

オリジナルテキスタイルを使い、「色が溶け合う」「布と溶け合う」「人と溶け合う」をテーマに空間をつくります。

立体的なテクスチャーを持つ布同士の重なりや、色と色の重なり。

角度によって違って見えるそれらを眺めたり触れたりすることで、自由に布とたわむれて欲しいと考えています。